

令和5年度 第1回 霧島市ふるさと創生有識者会議

開催日時	令和5年7月25日(火) 10:00~11:40		
開催場所	霧島市役所 別館4階 大会議室		
出席者	有識者	本田 泰寛 委員長、川東 千尋 副委員長、八反田 ひろみ 委員 前野 里美 委員、武田 和大 委員、竹田 智昭 委員、斑目 信行 委員 岩元 明子 委員、村上 和 委員、田間 美沙緒 委員、林 慶藏 委員 鶴ヶ野 未央 委員、蘆田 慶子 委員 (全15委員中13人が出席)	
	霧島市	地域政策課：今村 主幹兼中山間地域活性化G長、横山 主幹兼地域政策G長 DX推進課：三善 主幹兼DX戦略G長 商工振興課：西村 主幹兼商工観光政策G長、勘場 商工観光政策G主任主事 市民課：木原 窓口グループ長	
	事務局	出口 企画部長、上小園 企画政策課長、藤田 主幹兼企画政策G長 川床 企画政策Gサブリーダー、岡元 主任主事、永田主事	
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
会次第 1 開会 2 委員長あいさつ 3 委員自己紹介・あいさつ 4 議事 (1) 令和4年度地方創生推進交付金事業について ・創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業 (商工振興課) 資料1、1-1~4 ・新たな人の流れ創出プロジェクト(地域政策課) 資料2 (2) デジタル田園都市国家構想交付金について 資料3 5 その他 6 閉会			
議事等の概要 ④：委員 ⑤：事務局 (1) 令和4年度地方創生推進交付金事業について → 事務局(企画政策課)から地方創生推進交付金について、商工振興課と地域政策課から各実施事業について、資料1、資料1-1~4、資料2に基づき説明。 委員からの主な質疑等は次のとおり。 ④ 資料1のKPI②(本事業を通じた創業者による新規雇用者数)について、令和4年度の実績値には令和3年度の創業者による雇用者も含まれるのか。新規雇用			

者数を増やすため、どのような取組をしているのか。

- ㊦ 実績値には令和3年度の雇用者数も含む。新規雇用者数を増加させる取組については、特にできていない。
- ㊦ KPIに設定するのであれば、創業者への伴走支援も検討する必要がある。

- ㊦ 資料1の事業は今後も継続するようだが、令和4年度以降の5年先、10年先の中長期的KPIを設定する予定はあるのか。
- ㊦ 取組状況を勘案しながら、検討していきたい。

- ㊦ 資料1-4の女子起業ラボ参加者へのアフターサポートはあるか。
- ㊦ 月2回開催する創業支援コンシェルジュによるサポートを実施している。
- ㊦ 小浜ビレッジや横川 Kito など特色ある素晴らしい取り組みが多い。それらの持続可能な仕組みづくりを、官民一体で考えていくべきではないか。

- ㊦ 資料2について、ターゲットにしている年齢層や立場はどこか。また、相談や体験に来る人はその層と一致しているのか。
- ㊦ ターゲットは働き盛りの30代~40代で、併せて中山間地域への光ブロードバンド整備も行ってきた。空港や豊富な温泉があることで、それらの層をはじめ、60代以上の層にも人気がある。

- ㊦ KPI③（移住プロモーション活動による相談件数）の相談内容はどのようなものか。
- ㊦ 748件のうち655件が市窓口への相談、93件が他県でのイベント時の相談である。市窓口のうち来庁が35%、電話が61%、メールが4%である。内容は移住補助金に関するものが55%、空き家バンクに関するものが27%であった。

- ㊦ 移住希望者への案内はどのように行っているのか。
- ㊦ 移住希望者への目的に応じて柔軟に対応している。令和5年度の移住体験ツアーには空き家見学をはじめ、参加者の希望に合わせて行程を組んでいる。
- ㊦ 空き家バンクの掲載件数が少ないのではないか。移住を検討する人は、周辺の施設や空き家の改修費用の目安等の情報も知りたいのではないか。

- ㊦ 会議の在り方として、資料をパワーポイントで映すなどペーパーレス対応を検討してはどうか。会議進行についても、まずは戦略の全体像を確認した上で、個別の実施事業の検証をしたほうが理解できるのではないか。事業実施については、例えば移住では、昨年の全国和牛能力共進会など他県から多くの方が訪れる

チャンスを生かす工夫もできたのではないか。創業支援の取組についても、より多くの人に知ってもらえるようPRしてほしい。

(2) デジタル田園都市国家構想交付金について

→ 事務局（DX推進課）から資料3に基づき説明。
委員からの主な質疑等は次のとおり。

- ④ 資料3の13ページについて、デジタル田園都市国家構想交付金の全事業について、当会議で検証することになるのか。
- ⑤ AI活用型オンデマンドバス運行事業については、効果検証する外部の機関があるが、窓口受付支援システム事業については外部の検証機関がないため、当会議で今後検証をお願いしたい。
- ④ 9ページについて、オンデマンドバス事業は既存のタクシー事業者の存続に影響はないのか。
- ⑤ 当事業は、運転手不足で路線縮小が進むバスの代替手段として進めるもので、タクシー事業者に委託し、一定の委託料を支払う形となっている。オンデマンドバスは乗り合いであり、ドアツードアではなく乗降スポットで乗り降りする点がタクシーとの違いである。バスとタクシーの中間の運行形態とイメージしていただきたい。
- ④ 料金は。
- ⑤ 既存の公共交通機関である、ふれあいバス、デマンド交通、市街地循環バスと同額の中学生以上200円の予定である。
- ④ 様々な場面で広報し、市民に知ってもらえるべきではないか。他県の成功事例でのメリット等を併せて紹介すると、興味を持つ人も増えるはずと考える。
- ④ 霧島市はマイナンバーカード取得率が県で2位。最近、マイナンバーにネガティブな情報が多いが、高い普及率は強みとして生かすべきではないか。マイナンバー取得によるメリットを積極的にPRしてほしい。
- ④ オンデマンドバスは主に高齢者が対象となるため、市が公民館等に出向き、丁寧な説明や体験会をすることも普及に効果があるのではないか。
- ⑤ 当事業の開始予定は、10月から年内にずれ込む予定である。運行計画が決まり次第、様々な場所に出向いて説明したい。
- ④ 窓口受付システムは、今後、他の届出でも使えるようになるのか。
- ⑤ 段階的に拡張していく予定である。今後は転届以外の手続きもスムーズにで

きるよう、システム構築に努めていきたい。

会議資料	会次第
	資料1 創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業 (令和4年度地方創生推進交付金事業効果検証シート等)
	資料1-1 補足資料 (LIVE KIRISHIMA_casestudy)
	資料1-2 補足資料 (国分中央エリアビジョン)
	資料1-3 補足資料 (リビングスクールキラシマ)
	資料1-4 補足資料 (3年間の取組)
	資料2 新たな人の流れ創出プロジェクト (令和4年度地方創生推進交付金事業効果検証シート等)
	資料3 デジタル田園都市国家構想交付金について